



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

認め合い 支え合い 高め合う 東小の子

令和3年8月31日発行 第6号

『知恵を出し合い 前へ!』

岩内東小学校長 齊藤 信之

オリンピックという大舞台で世界を凌駕する日本人選手の活躍に多くの感動と勇気をもたらした夏休みが終わり、新学期と共にパラリンピックが始まりました。「できない」とあきらめるのではなく、「どうしたらできるか」と創意工夫と努力で限界に挑むパラリンピアン姿は、社会の中にあるバリアを減らすことの必要性和発想の転換の重要性に気付かせてくれています。

始業式の朝、久しぶりに見た子どもたちは、少しの間にずいぶんと身長が伸びていて驚きました。同時に、自由研究で取り組んだ作品を大事そうに抱える笑顔には、心のエネルギーをたっぷりと貯め込むことができたことが見て取れました。

デルタ株が猛威を奮い、全国的に感染が拡大している新型コロナウイルス感染症への不安は、ひと時も消えません。従来株よりも子どもの感染リスクが高く、子どもから家族へと広がる事例も増えていることを考えても、教育活動と感染症対策の両立に難しさを感じています。予防意識をより高くもち、やるべきことを徹底していくしかありません。引き続き、毎日の健康観察や登校前の検温、風邪症状がある場合の登校自粛へのご協力をよろしくお願いします。

当たり前だと思っていた普通の暮らしを揺さぶっているCOVID19。今やどこにいても、何をしても、いつだって誰だって感染のリスクはゼロではありません。感染拡大を防ぐためには、さらなる「行動変容」が必要となると同時に、誰もが、少しでも心のびやかに暮らせる町のあり方が、今こそ問われているのかもしれない。感染拡大阻止は、もちろん大事です。経済対策も大事です。でも、もう一つ忘れてならないことは、たとえウイルスに感染してしまっても、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せるということの大切さです。「ただいま」「おかえり」。お互いにそんなふうに言い合える、受け止める空気であってこそ、安心・安全が守られる町なのだと思えます。

(新型コロナウイルス差別拡大防止 ～シトラスリボンプロジェクト～)

北海道に3回目となる緊急事態宣言が出されました。受け入れに制限がかかり、活動のプログラムを組むことが難しくなったため、やむを得ず5年生の宿泊研修を延期としました。この他にも予定していた行事や活動の見直しが必要となるケースが出てくると思います。一つ一つ難しい判断を迫られることになるとは思いますが、「どうしたらできるか」の視点で知恵を出し合い、子どもたちが積極的に仲間と協力して目標の達成を目指す活動や、自分自身の進歩、成長を実感できる場を保障できるよう努めていきたいと思えます。お力添えをどうぞよろしくお願いいたします。